～私の抱負～

【坪井（つぼい）　仲治（なかじ）】

安心で笑顔あふれるまちづくり

活気あるまちには笑顔が溢れています。活気を創出するためには、地域経済の発展、安心・安全に暮らせる環境、子供達がしっかり勉強ができる環境、女性が子育てをしやすい環境等の色々な要素があります。私はこれらについて、一つずつ丁寧に対応をしてゆきたいと考えております。これを実現するために、①災害に強い地域づくり（市民の生命・財産を守る施策の立案）、②福祉の充実（健康寿命を延ばし介護予防を図る）、③男女共同参画の推進（女性の活躍の積極的な推進）、④農業振興（農産物の販路拡大による販売促進）を重点的に進めて参ります。そして、施策を確実に実行するために、市民の皆様のご意見を広く伺い、地に足をつけてしっかりと行っていきたいと考えております。

【織部（おりべ）ひとみ】

市民の命と生活を守る

市民生活を揺るがす新型コロナウイルスという未曽有の危機に直面する今こそ、市民が抱く不安を希望に変えていく時である。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が受けられる体制の整備を支援して参ります。

温暖化により毎年起こる災害に多くの声をいただき、市民の命を守る為の治水対策の前進、防災・減災を強化し安心した生活ができる街づくりに取り組んで参ります。

人口減少のなか緑豊かな環境の菊川市に住みたいと思われる子育て世代への支援をして参ります。

高齢者が安心して暮らせる医療体制の充実に取り組んで参ります。

温暖な地域である菊川市は一年を通して農業が盛んです。農業促進の為、担い手を支援して参ります。

一人の声を大切に、市民の代表として市政に取り組んで参ります。

【小林（こばやし）　博文（ひろふみ）】

新しい時代への挑戦

新型コロナウイルス感染症は拡大を続け、人類の生活様式を一変させました。この影響は市内の飲食店や観光などの産業はもとより、各企業における業績の悪化も懸念されます。しかし今般、ワクチン接種の具体的な方法も示され、コロナ禍からの復興に向け進み始めています。今後は疲弊している業界への絶え間ない支援と併せて、市内の経済活性化にも対応が急がれます。その一つ、企業誘致や定住促進の起爆剤として、菊川駅の橋上化、南北自由通路開設が必要不可欠です。また、人口減少問題、特に生産年齢人口の減少に対応すべくＩＣＴを活用したデジタル化の推進にも備えが必要です。今や時代は加速度的に進歩しています。長谷川新市長の下、「新しい時代への挑戦」が始まります。

【横山（よこやま）　陽仁（ようじ）】

二期目に当たって

今回の二期目に挑戦した議員の評価は厳しいものでした。市民の方の評価であり、しっかりと受け止めたいと思います。

二期目の約束として、先ずやらなければならないことは、茶業と茶業をはじめとする菊川の農業の変革。持続可能な形に持ってゆくためには、何が要素として必要になるか、そのためには現状分析が必要です。今まで断片的に聞いたり、見たりしてきましたが、ここで腰を落ち着けて要因を分析し、しっかりした提案をして行きたいと考えます。

やはり議員は提案型でないといけないと思っています。今までの自分の経験を行政に惜しみなく提供して、目標とする菊川市の発展に少しでも寄与できればと考えています。